新たな可能性を見出す
企業コラボ

シリーズ座談会②

シリーズ第２弾は、国産デニムの一大産地として名を馳せる福山の企業コラボ事例をご紹介。地域の繊維関連企業８社が参画するHITOTOITO（繊維産地継承プロジェクト委員会）の取り組みについて語っていただきます。

備後の繊維関連企業が“人と糸を育てる”プロジェクトを展開

繊維のまちが誇る縫製技術を次世代に継承するために

この日HITOTOITOの事務所に集まってくださったのは、プロジェクトメンバー8社のうち6社8名。産地を盛り上げるためには何をすべきか、年齢や立場を超えて自由闊達に意見を交わしながら仕事の合間を縫ってボランティアで取り組みを進めてきた。

備後絣の染色や織布技術を応用した福山市のデニム生産量は日本一。その技術とクオリティは国内外の一流ブランドからも高く評価されている。

産地として生き残るためにデニムスクールを開講

―プロジェクトの目的は

後藤委員長　備後の繊維産業は江戸時代の綿花栽培から始まり、日本三大絣に数えられる備後絣の考案により大きく発展。さらに今日ではデニムやカジュアルウエアなどの生産へと変遷してきた歴史があります。一方で日本の繊維業界はコストの安い海外生産移転が進み、国内製造を続けてきた企業も人手不足で外国人技能実習生に頼らざるを得ないのが現状です。このままでは熟練の技術やこだわりを次世代に継承することができない。産地として生き残るためには、人材育成を今やらなければ―と地域の縫製工場の方々にプレゼンし、賛同を得た8社でプロジェクトを立ち上げたわけです。

―活動内容を教えてください

後藤　２０１９年からデニムスクールを開講し、その運営を主に行っています。初級コースは10日間で専門知識や縫製技術を学び、卒業制作としてデニムパンツを1本縫い上げるプログラムになっており、ミシンを触ったことのない方でも丁寧に一から教えます。その他にもワークショップやイベントの開催、アパレル企業などの研修等も手掛けています。

安原　デニムスクールでは、生地を織り上げる工程から染色・加工・洗いなど地域にある様々な専門工場を見学する日を設けています。うちは生地を仕入れて製品にする会社なので受講生と一緒に巡って初めて見る工程も多く、私自身としても勉強になっています。

「福山市北部は紡績、製織、裁断、縫製、染色、加工など、服を仕立てる全工程の専門工場が集積した全国でも珍しい地域なんです」と委員長の加富屋(株) 代表取締役 **後藤和弘さん**。

新しい出会いや繋がりが地域に活力を生む

―取り組みの手ごたえは

黒木　メディアに取り上げてもらったり、ＳＮＳや口コミで県内だけでなく千葉、福井、京都、高知など遠方からも受講生が集まっています。隣のアレクシーは“デニムオタク”が高じ、フランスから学びに来た卒業生の一人です。

中山　４年間で１２０人余りの卒業生うち、この福山北部地域で就業した人が約1割。自分でブランドを立ち上げた人や、地元へ戻り繊維関連の事業で起業した人もいます。繁忙期には手伝いをお願いすることもあり、卒業しても繋がりが切れていないんです。

藤本　国内外にちらばっても縁が続いているのは、本当にすごい。情報発信の仕方を工夫しながら、まずは多くの方に知ってもらい、業界に興味を持ってもらうことが今後の人材育成にも繋がっていくと思います。

関連企業が力を合わせて産地を盛り上げたい

―今後の展望を教えてください

中山　繊維産業はかつて日本の基幹産業でしたが、今や衣類の国内製造はわずか２％。全国にあった繊維産地はどんどん減少しており、このエリアの工場も最盛期に比べるとかなり減少しました。私たち縫製業だけでなく、関連する企業全てが存続できなければ意味がないですから、取り組みの輪を拡げ“産地”として生き残る方法をみんなで考えていきたいですね。

後藤　この地域は備後絣の生産から分業体制が根付いたことで各分野の専門技術が磨かれ、今日まで連綿と受け継がれてきました。日本が誇る技術を有しているとして国の繊維産業特区のような形が認められ、産地継承のモデルケースになることが目標です。

後藤委員長　かつては地域内でも互いに手の内は見せない空気があったようですが、ヒトトイトの活動を通じて地域の横のつながりが活性化し、縁の下の力持ち的な業界の仕事にスポットが当てられたのも成果の一つ。相乗効果で自社の強みをさらに磨いていこうという雰囲気になっていると感じます。企業同士が今のような関係を維持し、様々な形で協力しあって日本一の産地を目指していきます。

デニムスクール専用スペース。

世界屈指のデニムメーカー・カイハラの「貝原歴史資料館」で、備後絣の技術や絣からデニムの変遷など産地の歴史を学ぶほか、藍染め体験も。

熟練の講師指導の下、工業用ミシンを使った縫製技術を学ぶ。

副委員長の
マルカ(株)
代表取締役
後藤賢二さん

(株)エヌ・ディ・エス
代表取締役
中山貴史さん

(有)ヤングメンズ
藤本真弥さん

(株)C2
代表取締役社長
安原英弘さん

副委員長の
(株)ディスカバーリンクせとうち
黒木美佳さん

「ライバル企業なのに、皆さんオープンマインドで一致協力して活動を展開している。業界的に珍しい事例では」と東京の企業から㈱ディスカバーリンクせとうちに出向中の**前田さん**。

「備後のデニムづくりは興味深い」とフランスからの受講生・**アレクシーさん**。

Project Team

有限会社MILL CREATE
福山市新市町戸手1030-4
☎0847-51-5373

パターン作成、サンプル縫製などを事業の柱とし、布帛素材の幅広いアイテムのOEM商品も手がける。

大江被服株式会社／株式会社スカイコーポレーション
福山市神辺町川北1054-2
☎084-963-3339

デニム素材や布帛全般を用いたカジュアルウエアのOEMメーカー。スカイコーポレーションはブルゾンを製造。

株式会社C2(旧弘文株式会社)
福山市芦田町向陽台2000-147
☎084-958-4330

オーダーメイドのワーキングウエアやユニフォーム、デニム製品、雑貨等を製造するアパレルメーカー。

株式会社エヌ・ディ・エス
福山市駅家町倉光409
☎084-976-0747

カジュアルジャケットやボトムス、シャツ、トートバッグなどの縫製を手がけ、有名ブランドからの受注も多い。

株式会社ディスカバーリンクせとうち
福山市新市町戸手105-2
☎0847-54-1388

尾道・福山・鞆の浦のエリアを中心に地元の魅力や産業を軸に、せとうちの未来を育てる事業を展開中。

有限会社ヤングメンズ
福山市新市町新市953-9
☎0847-52-3550

カジュアルウエアのコートやジャケット類を得意とする縫製工場で、その品質の高さには定評がある。

マルカ株式会社
福山市新市町相方680-2
☎0847-52-3355

備後絣の織元として創業し、縫製業へ移行。OEM生産のほか、ユニバーサルシャツの自社ブランドも展開。

加富屋株式会社
福山市新市町相方470
☎0847-52-3555

メンズ・レディースウエアのトップメーカーとして、主に有名アパレルなどのOEM商品を手がける。